

6 本時の学習（12時間予定 本時はその8～9）

（1）ねらい

1 食分の食事の献立を選びながら、調和のよい食事とはどのようなものか考えることができる。

（2）人権教育の視点

栄養士を迎え、日頃食事を作ってくれる人への感謝の気持ちをもつ。

（3）準備 学習ノート 掲示用資料（模造紙・画用紙） 学習プリント

（4）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 本時の学習のめあてを知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は互いの発表を聞きながら、1食分の献立として好ましいものを考えることを知らせる。</li> <li>・献立を考える際に気を付けることを家族からのインタビューや給食、クラスで話し合ったことなどから思い出させる。</li> </ul>	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 発表会の際に気を付けることを確認する。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の発表会の流れを確認する。 （発表時間5分、質問時間5分以内とする） （各班1人が司会者兼時間係とする） （掲示物の貼り方及び発表内容は班ごとに自由）</li> <li>・質問は参加者全員ができることを知らせる。その回答は発表者の中で誰でも答えてよいこととする。</li> <li>・学習プリントを配布し、記入の仕方を説明する。 （ の記号で採点する） （献立はもりつけ図や青の模造紙を参考にする） （お弁当は黄色の模造紙を参考にする） （発表は全体の流れやピンクの模造紙を参考にする）</li> <li>・自分が実際にその献立を使いお弁当作りをしなければならぬことを考え、メモ欄に気付いたことを記入するように伝える。</li> <li>・発表の際には発表者と聞く者と適した態度で臨むよう伝えておく。</li> </ul>	調和のとれた食事について理解し分かりやすく発表したり、疑問点は質問したりできる。 （観察）
3 班ごとに発表し、質問を受ける。	60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に決めた班の発表順序で行う。</li> <li>・机間巡視をし、プリントへの記入状況を把握する。</li> <li>・必要に応じ質問し、お弁当作りが可能なものであるか投げかけをする。</li> <li>・家族や給食センターの負担、お楽しみ給食を食べる児童生徒のことを考えるように助言する。</li> </ul>	発表会に積極的に参加している。 （観察）
4 まとめをする。	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表後の感想を栄養士に伝えてもらう。</li> <li>・学習プリントに採点をする （献立 5点 3点 0点） （お弁当 5点 3点 0点） （発表 3点 2点 0点） （自分の班についても同様に採点する）</li> <li>・合計得点を記入し、プリントは回収する。</li> <li>・日頃の食生活でも、調和のよい食事をとることができるようよびかける。</li> <li>・本時の献立を調理実習で取り上げることを知らせる。</li> </ul>	自分の考えを入れながらプリントに記入することや適切に採点ができる。 （プリント） プリントに記入することや採点することができる。 （プリント）